

令和7年度 自己評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園
認定こども園 カトリック士別幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、「おいのり・しんせつ・がまん・ありがとう」の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切に教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と保育者との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、当地域において本園が今後担う役割について検討する。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	安全で清潔感のある環境を構成している。 指導計画は、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものになっている。毎月、月案を作成し、遊びに必要な道具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意している。行事は、打ち合わせを密に行い準備をし、子どもがより楽しめるよう考えて取り組んでいる。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	保育室が2階のため、園児用の手すりを使い、上りと下りの進行方向を決めている。子どもたちが好む隠れられる場所を把握し、安全に遊ぶことができるか確認している。園舎内外の遊具の安全点検や園内の換気、採光、室温などに気を配っている。床暖房による乾燥を防ぐために加湿器や空気清浄機を設置している。 園児一人ひとりの話を聞き、その子の思いを受け止めるよう努めている。わがままで言っているのかも判断しながらその子の思いを聞くようにしている。毎日の職員間の集会の中で、園児について、満3歳、年少、年中、年長またはクラスに関係なく保育者全員が情報を共有し、共通理解をするように心がけている。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	職務上知り得た個人情報管理し外部に漏らさない。 園児の性格や個性を把握し、その子の考えや感じていることの理解に努めている。 研修は、北私幼、北カ幼、旭川カトリック学園などの研修会に積極的に参加し、研修報告書を提出し、資質向上に努めている。研修はあくまで自分の資質向上のためだが、処遇面にも反映してくるのでできるだけ受ける

	<p>ようにしている。リモートの研修にはなるべく参加するようにした。</p> <p>園に神父さまがいないため、稚内から神父さまに来てもらって保育者のための勉強会と園児のために宗話を毎月行っている。キリスト教の精神と理念を土台に幅広く人間のことを学び保育に活かせるように考えている。</p>
--	--

<p>4 保護者への対応及び家庭との連携</p> <p>園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<p>園児の様子は電話や連絡帳で知らせ、直接保護者と顔を合わせた時に表情を見ながら伝える工夫をするように努めている。保護者からの相談や要望に心を開いてよく聞くように努めている。</p> <p>仕事をする母親が増えているのでマチコミメールを利用して、保護者へ緊急連絡をしている。</p> <p>個人情報の管理に気をつけている。</p> <p>園日より、クラスだよりが保護者にわかりやすいものとなるよう内容や文面を考え、発行している。</p>
<p>5 地域の自然や社会との関わり</p> <p>地域の自然や社会との関わり、及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>士別紙芝居サークルの方にきていただき、紙芝居を見せていただいている。先生とは違う人に読んでもらうことで、園児たちは集中して楽しんでいる。来年度は学期ごとに1回を考えている。</p> <p>中学生の職場体験の受け入れもしている。園児たちは、お兄さんお姉さんといっしょに遊んでもらい喜んでいる。</p> <p>幼保連携事業で小学校見学に参加し、就学に向けて良い経験となっている。</p>
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>研修会には、自己課題をもって進んで参加している。研修後には報告書を提出し保育に活かしている。研修で購入した教材は保育に活かし、子どもたちにとって興味をひくもの、関心のあるものは何か常に研究している。</p> <p>幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行っている。</p>

今年度、新たに取り組んだこと

- ・子どもたちの創造性を養うために、自主的に使える廃材を置くスペースをつくった。
- ・行事の時には、駐車場が狭いので近隣の方に協力していただき車を止めさせていただいている。
- ・クラスごとに野菜を育て、土を触ること、種や苗を植えること、草取り、給食で食べることなど、食育につなげている。
- ・士別小学校から招待され、年長児が1年生と交流した。
- ・消防署の方にきていただき、おもちゃ花火教室を開いていただき、安全な花火のやり方を教えていただいた。
- ・世界紙芝居の日にちなみ、士別紙芝居サークルの方に来園いただき、紙芝居を見せていただいた。
- ・防火クラブの事業として、ちびっこ防火・防災体験に参加した（士別消防署）
- ・お別れ会までに縦割り保育の日をつくり、異年齢で活動する日を設けた。

取り組むべき課題について、もう少し時間をかけて話し合い、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、改善して取り組む姿勢を整えていく。

4、学校関係者の評価

保育の計画性

- 評価4
- ・環境整備がしっかりと整っており、園児たちも活動しやすそうに感じた。
 - ・園内の清掃、外の整備も積極的に行われており、園児、保護者が安心して通える状態にしてくれている。
 - ・今年度は廃材スペースを設けたことで、子どもたちが好きなように創作活動ができていた。
 - ・清掃してくれる方への感謝の気持ちも忘れずにいたように思う。

保育の在り方及び対応

- 評価3
- ・保育者の在り方について素晴らしいと思うが、園児数に対する保育者の数が少ないと思う。
 - ・何かあれば電話等で連絡をし、保護者とよく話をしている。
 - ・預かり保育時には、クラスに関係なく、先生と子どもたちが仲良くしているようすを見かける。

保育者としての資質

- 評価3
- ・プロの保育者として素晴らしいと思います。
 - ・保育者のプライベートなことを持ち込むようすはない。
 - ・今年度は途中で担当が変更になる等、子どもたちや保護者が不安に思うこともあり残念だった。

保護者への対応及び家庭との連携

- 評価3
- ・センシティブな内容についても対応していただけていたかと思います。
 - ・先生方の事情もあると思いますが子どもに関わるポジションで入職した際は、はじめにご紹介してほしいです。子どもの口から聞くのみでは認識できていない保護者がいた。
 - ・いつも先生方が丁寧に笑顔で対応してくださりありがとうございます。
 - ・インスタグラムや長期休み、イベントの際に写真を撮り掲示してあるのを見て保護者として安心して預けられた。

地域社会との連携

- 評価3
- ・各種イベントを通じて理解できたと思う。
 - ・交通安全教室や散歩の際に交通ルールをしっかりと教えてもらっていた。
 - ・土別小学校へ行った際にも子どもたちが進学を楽しみにできるようにしてくれた。

研修と研究

- 評価3
- ・自己研鑽に努める中、園児たちに寄り添った保育をされていると感じました。
 - ・毎年、新しい事を取り入れ、子どもの発達段階のことを考え細かく見てくださり感謝しています。

5、第三者評価

保育の計画性

- 評価3
- ・園児に理念を伝えることはまだ難しいと思いますが、園児の「やりたい」をととても尊重してくださっていると感じています。

保育の在り方、幼児への対応

- 評価4
- ・何気ない出来事もきめ細かく情報共有してくださり、共感的に園児理解に努めてくださっていると感じています。

保育者としての資質

評価4 ・経験に基づいて園児理解をしてくださる先生や、園児のどんな側面にも愛情をもって接してくださる先生など、各々の先生の良さを発揮し、協力して保育にあたってくれていると感じます。

保護者への対応及び家庭との連携

評価4 ・日ごろから相談し易い雰囲気をつくってくださり、相談後も継続してようすを見てくださっている実感があります。

地域社会との連携

評価3 ・保護者目線からはわからないことも多いですが、保護者、外部の方に親しく接していただいていると思います。

研修と研究

評価4 ・情報が全職員に共有されていて安心感があります。可能な限り個別の支援もしてくださり、学年が上がっても過去と照らし合わせて、できるようになったことやその子のペースに目を向けてくださっていると感じます。

6、財務状況

大手監査法人である太陽 ASG 有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。